

市民の友
2013(平成25年)
4.1 No.1124

第66回卒業証書授与式

まはら



彦根市の福祉推進財団
本報は財団法人彦根市立
使用上三訂「彦根」の創設部
「だが、明りの葉はカタバニ
な、大倉の大地にカタバニ
な、大倉の大地にカタバニ
は、大倉の大地にカタバニ
を、大倉の大地にカタバニ
を、大倉の大地にカタバニ

TOPICS

- 市政方針・平成25年度の予算 ②
- 第5次総合計画策定審議会の委員募集 ⑬

～113 さらさら輝く大倉っ子／最後の卒業式～

明治32年、大倉尋常小学校として創立した大倉小学校が植岡小学校との統合により113年の歴史を閉じました。3月18日は最後の卒業式がおこなわれ、10人の児童が巣立っていきました。卒業生は、6年間の思い出をかみしめながらお別れの言葉を述べ、全校生で歌った「旅立ちの日」は学校中に響き渡りました。





平成25年度 市政方針

市議会三月定例会で佐藤市長が述べた市政方針と、平成二十五年予算の概要をお知らせします。

演 壇

東日本大震災から、まもなく二年。月日の流れは矢のごとく速いものではありませんが、被災地の復興は、だいぶ進んだとはいうものの、今もって、津波や原発で被災された方々が、仮設住宅住まいや他の地域に避難されている状態にあります。村山

市には、現在約二十世帯、五十人の被災者の方々がおります。原発の影響で、いつ、ふるさとに戻れるかわからない中で過ごさなければならぬ方々の胸中を察すると、本当に心が痛みます。いち早い復興を心よりお祈りしております。

I はじめに

～村山市の教育風土を後世に～

平成二十五年三月定例市議会の開会にあたり、市政運営に対する所信を申し上げ、市議会ならびに市民のみなさまのご理解とご協力を賜りたいと存じます。

〈目 次〉

I はじめに	2
～村山市の教育風土を後世に～	
II 市政運営の基本方針	3
～村山市の総合力としての「地域力」がみなぎる年に～	
III 平成 25 年度予算編成の概要と主要事業	4
1 予算編成の概要	4
2 平成 25 年度に取り組む主要事業	6
(1) ひとを育み交流するまち	6
(教育・文化・交流)	
(2) ゆとりある住みやすいまち	9
(都市基盤整備・産業経済の振興)	
(3) 支えあい健康で暮らしやすいまち	11
(保健・医療・福祉・生活環境・安全快適)	
(4) みんなでつくる元気なまち	13
(市民活動・協働・行政運営)	
IV むすびに	15
～村山市民としての誇り、そしてシンフォニー～	



山形交響楽団創立名誉指揮者の村川千秋さんに名誉市民の称号を授与

さて、今年一月、村川千秋さんに名誉市民となっていた、だきました。村川さんは、山形交響楽団を四十年前に創立され、長年、指揮者として山形交響楽団を育ててこられました。村川さんは、ふるさと村山市をとても愛しておられ、「今日の私があ

るのは、市民の支え、県民のご支援があったればこそです」とおっしゃっていました。村川さんのご尽力がなかったならば、今の山形交響楽団はなかったと思われませんが、そのような方が村山市出身であることは本当に素晴らしいと思います。現在の山形大学学長の結城章夫さんや映画監督の村川透さんも本市出身であります。文化あるいは教育の面で非常に優れた方々が村山市から誕生していることは、私たち市民にとって何よりの誇り

であります。このような優れた人材を育む風土は一朝一夕にできたものではなく、先輩方がこれまで地道に培ってこられたからこそだと思います。この村山市の教育風土を後世につなげていかなければならないと考えております。そして、「村山市に生まれてよかった」と、心から思えるまちになるよう、これまで以上に精一杯努力してまいりたいと存じます。

II 市政運営の基本方針

「村山市の総合力としての『地域力』がみなぎる年」

さて、村山市は、昭和二十九年の市制施行から来年で六十年を迎えます。六十年を経て、「村山市民」であることを意識しながら育った方々が人口の多くを占めるようになりました。現在も八つの地域ごとに地域づくりが継承されていますが、自治体間競争の時代ともいわれる中、市としての「一体感」をもつて地域づくりに取り組むことが重要であります。

また、自治体の総合力としての「地域力」が問われている時代でもあり、地域の価値を自律的に高めながら、市の経済的発展・振興はもとより、市民のみなさんの誇り、生きがい、幸福感などの増進を心がけ地域経営にあたつてまいります。新年度も、自治力を高め、「地域力」みなぎる自治体として、全国から注目されるような施策を展開してまいりたいと存じます。

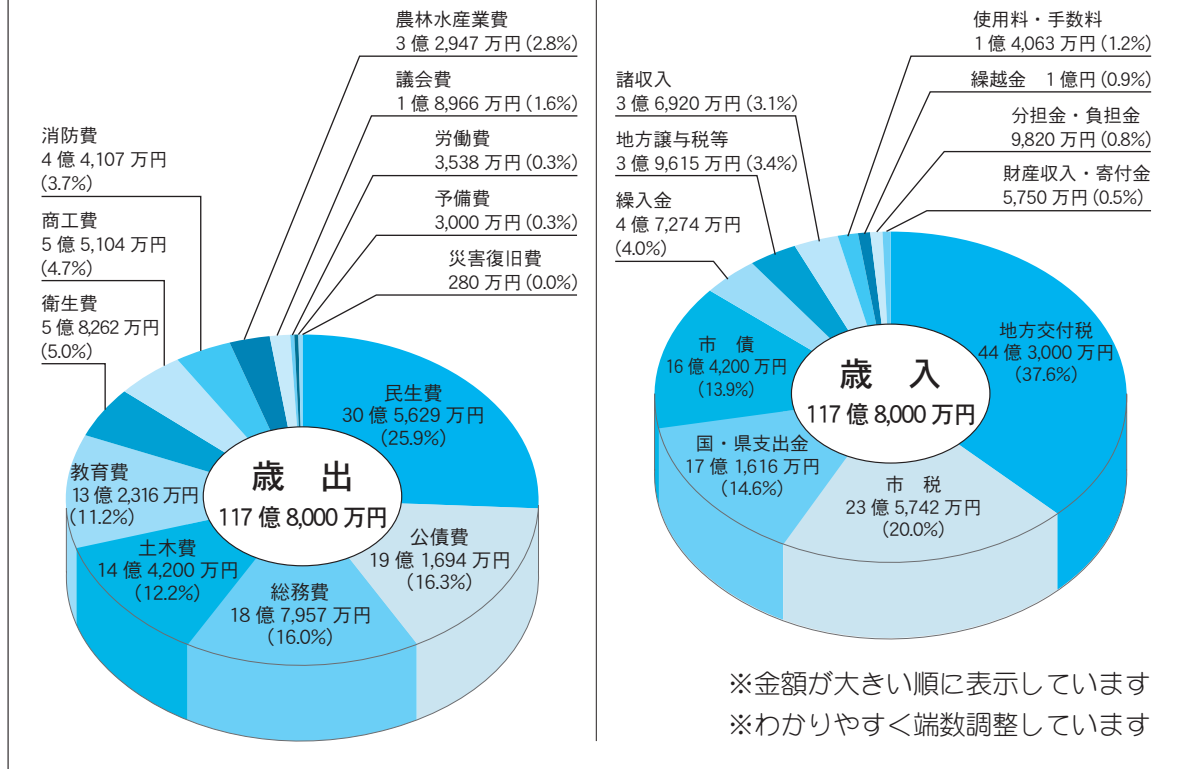
昨年、四年連続で総務省の「市町村の活性化新規施策100事例」に選ばれました。四年連続は全国で二自治体のみでした。本年も村山市の「地域おこし協力隊」の事例を県から総務省に推薦していた、だいておりますが、最終的に採択されれば全国でも数少ない五年連続となります。



飴葉プラザの交流によるにぎわい

Ⅲ 平成二十五年度予算編成の概要と主要事業

■平成 25 年度当初予算（一般会計）



※金額が大きい順に表示しています
※わかりやすく端数調整しています

1 予算編成の概要

次に、新年度の予算編成について申し上げます。

● 基本的な考え方

長引く景気の低迷などにより、地方の財源、財政状況は依然厳しい状況です。引き続き「集中改革プラン」を基本とし、行財政改革を推進しながら、自治体として持続可能な財政運営を保ち、市の将来都市像の実現に向け、存分に効果が期待できる予算編成をおこなったところであります。

● 一般会計予算

〈117億8,000万円〉

その結果、一般会計予算は、前年度当初に比して、金額で四億五千万円の増、率にしてプラス四・〇パーセントの百十七億八千万円となりました。特に、教育関係事業費、生活・交通基盤整備等を中心とする投資的経費は、二億九千六百万円（前年度比一九・三パーセント）の増額をおこないました。

● 八つの特別会計含む総予算

〈195億5,300万円〉

■歳入用語の説明

- 地方交付税** 市の財政状況などに応じて国から交付されるお金
- 市税** 市民のみなさんが納める税金（市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など）
- 国・県支出金** 特定の市の事業に対して国・県から交付されるお金
- 市債** 大きな事業をおこなうために国や金融機関から借り入れるお金
- 繰入金** 市の貯金の取りくずし
- 地方譲与税等** 国・県に納められた税金などから一定の割合で市町村に譲与されるお金
- 使用料・手数料** みなさんが市の施設や市民課などの窓口で、手数料などとして支払うお金
- 繰越金** 前年度から繰り越したお金
- 分担金・負担金** 施設入所者の自己負担金や児童の保育料などのお金

■村山市の総予算







会計名	予算額	(対前年比)
一般会計	117億8,000万円	(4.0%)
国民健康保険事業	29億3,932万円	(4.3%)
公共下水道事業	11億1,060万円	(3.6%)
財産区	93万円	(Δ0.7%)
農業集落排水事業	2億2,597万円	(242.0%)
土地区画整理事業	2,126万円	(Δ0.2%)
介護保険事業	22億6,617万円	(5.8%)
後期高齢者医療事業	2億8,855万円	(Δ2.5%)
水道事業	9億2,024万円	(3.5%)
合計	195億5,304万円	(4.9%)

■平成 25 年度一般会計予算を 村山市民 1 人当たりになると

(平成 25 年 3 月 1 日現在人口 / 26,723 人)

440,819 円 (平成 24 年度は 419,832 円)

■ 1 人当たりの予算

民生費 114,369円 	公債費 71,734円 	総務費 70,335円 	土木費 53,961円 
教育費 49,514円 	衛生費 21,802円 	商工費 20,620円 	消防費 16,505円 
農林水産業費 12,329円 	議会費 7,097円 	労働費 1,324円 	災害復旧費 105円 

市の予算は、何よりも市民が安心して生活できるようにすることが第一です。そしてまた、市民の福祉の向上を目指すものでなければなりません。新年度当初予算も、このことを心がけながら事業展開できる予算を目指しました。

その結果、未来に向けて、市民一人ひとりが明るく元気で安心して暮らせる村山市をかたちづくることのできる予算、百十七億八千万円といたしました。

積極予算

「生活安心・未来開花型」の 「いいな未来に花は咲く」

特別会計におきましては、保険給付費の増加により、国民健康保険事業特別会計が前年度比四・三パーセント、介護サービス利用などの増加により介護保険事業特別会計が五・八パーセント、それぞれ増加しています。その結果、一般会計と水道会計を含めた八つの事業の特別会計を合わせた総予算は、前年度比で九億一千七百万円の増、率にして四・九パーセント増の百九十五億五千三百万円となりました。

■歳出用語の説明

民生費

子どもや老人、障がい者などの福祉に使うお金

公債費

借りたお金の返済に使うお金

総務費

全般的な管理や戸籍・税などの事務に使うお金

土木費

道路や公園などの建設・修理・除雪作業に使うお金

教育費

学校の建設・改築や生涯学習などに使うお金

衛生費

市民の健康や環境を守るために使うお金

商工費

商工業・観光の振興のために使うお金

消防費

消防など市民の安全・安心のために使うお金

農林水産業費

農産物の振興などに使うお金

議会費

議会の運営などに使うお金

労働費

労働者の支援などに使うお金

「いいな 未来に 花は咲く」、
あるいは「人々が なごみ や
わらぐ安心」 予算といえるもの
であり、その意味で「生活安心・
未来開花型」の積極予算とする
ことができたと考えております。

2 平成25年度に

取り組む主要事業

次に、平成二十五年度に取り
組む主な事業について、総合計
画に掲載している政策順にご説
明申し上げます。

(1)ひとを育み交流するまち (教育・文化・交流)

国の将来を担うのは、子ども
たちであります。村山市の子ど
もたちをよりよい教育環境のも
とで学ばせることができるよう
に、新年度も教育分野に力を入
れてまいります。

●小・中学校における 教育環境の整備

小・中学校の校舎は、子ども
たちが一日の多くの時間を過ご
す場所であり、安全な校舎を整
備することは市としての使命で
もあります。現在、学校校舎の
耐震化を計画的に進めておりま
すが、残るは、楯岡小学校校舎



大久保小学校新校舎の模型

と大久保小学校校舎のみとなり
ました。
大久保小学校は、新年度から
二か年をかけて、本格的な改築
工事をおこない、新しい校舎を
建築いたします。この間、大久

保小学校の児童は、戸沢小学校
に場所を移して学習することに
なりますが、スクールバスを用
意し、通学に支障が出ないよう
に配慮いたします。改築中は、
一校に二つの小学校が同居する

形で二年近くを過
ごすことになりま
すが、葉山中学校
では一緒になる両
校ですので、仲良
く交流を深めなが
ら学校生活を送っ
てくれるものと思
います。

一方、楯岡小学
校ですが、平成二
十七年度に、北・
中校舎の大規模な
改築工事をおこな
う耐震改修を計画
しております。ま
た、新年度より、
大倉小学校が楯岡
小学校に統合され
ることから、スク
ールバス二台を新
たに運行し通学環
境を整えます。
楯岡小と大倉小、
大久保小と戸沢小、
それぞれ、先生方、



楯岡小と大倉小の交流授業で居合を披露

保護者の方々とも連携しながら
スムーズに移行できるよう全力
を尽くしてまいります。
ほかに、児童生徒の身体を
つくる給食事業や富並小屋根改
修など、必要な整備を計画的に
進めてまいります。

●「読書活動」と 生涯学習の推進

「読書シテイ」宣言をおこな
って三年目。市では、小・中学
校の新入生に図書の本を贈呈す
る「図書館からの贈り物」や「読
書川柳コンクール」をはじめ、

平成 25 年度の主要事業 (新)は新規事業)

1. ひとを育み交流するまち

- 新・大久保小学校改築事業 5 億 5,734 万円
- 新・戸沢地域市民センター改築工事、
富本地域市民センター耐震工事業 1 億 5,601 万円
- 小・中学校スクールバス運営事業 2,652 万円
- 新・図書館の図書等購入 (分館図書購入含む)、
図書館からの贈りもの事業 1,400 万円
- 友好都市交流事業 / 子ども交流 367 万円
(台東区友好都市締結 5 周年記念事業)

2. ゆとりある住みやすいまち

- 市道特殊改良・新設改良事業 3 億 2,164 万円
(徳内・シーボルトライン、駅西中央 1 号線等整備)
- 県営道路事業負担金 3,000 万円
(東北中央自動車道追加 I C 設置など)
- 住宅リフォーム支援事業 4,180 万円
- 余暇開発施設整備事業 1 億 1,857 万円
(クアハウス基点大浴場新築工事)
- 新・村山駅東口北自転車駐車場建設整備事業 3,000 万円
- 新・地域公共交通運行事業 873 万円
- 新・農商工連携・農業 6 次産業化事業・
農商工合同産業基盤強化事業 692 万円
- 新・青年就農給付金事業 1,275 万円
- 新・着地型観光パンフレット制作事業 383 万円

3. 支えあい健康で暮らしやすいまち

- 新・公共施設等再生可能エネルギー整備事業 3,624 万円
(公共施設へ太陽光パネルと蓄電池の設置)
- 新・防災行政無線整備事業 600 万円
- 新・子ども・子育て支援事業計画策定事業 200 万円
- 特定不妊治療費助成事業 (全額助成)、
不育症治療費助成事業 435 万円
- 妊婦健診事業、
産婦・乳児 1 か月健診助成事業 1,508 万円
- 新・子育て支援医療給付事業 7,843 万円
(小学 6 年生まで外来医療費無料)
- 放課後児童健全育成事業 4,668 万円
- 新・障がい者福祉サービス等事業 3,004 万円
(旧保健所施設で総合福祉支援センター事業を開始ほか)
- 新・高齢者運転免許証自主返納支援事業 40 万円
- 新・自主防災組織支援事業 1,200 万円
- 新・木質バイオマス燃料機器設置事業 50 万円
(薪ストーブ、ペレットストーブ等導入に補助)
- 新・森林資源利活用促進事業、
森林整備推進対策事業 270 万円

4. みんなでつくる元気なまち

- 新・光ファイバー網整備事業 1 億 2,000 万円
- 地域活動推進事業 2,500 万円
- 地域おこし協力隊受入事業 780 万円
(都市圏からの UJi ターン者の受け入れ)
- 新・第 5 次総合計画策定事業 278 万円
- 新・議会インターネット中継配信等事業 378 万円



図書館からの贈り物
小学校新入生への「はじめの一冊」

全国的にも先進的かつ村山市独自の読書推進事業を積極的に展開しており、全国からますます注目される市立図書館となっております。そのような背景もあり、この秋に「全国公共図書館研究集会」という全国大会を開催いたします。全国各地の図書館の第一線で活躍されている二百人近い方々が甌葉プラザに集まり、情報交換をいたします。「読書シテイむらやま」の知名度がさらに高まるものと期待しております。

生きることは学ぶことでもあります。そして、生涯学習の基盤は、何といたっても「読書活動」にあるものと考えております。市内の地区公民館は、多様な化する住民ニーズにあわせ平成二十五年度より「地域市民センター」に変わります。もちろん、地域づくりの拠点であると同時に、生涯学習、人材育成の拠点であることは変わりません。むしろ、市民センターになることで、活用の自由度が増し、地域の独自性を活かしながら地域づ

くりができるものと思います。一昨年来、改築準備を進めてまいりました戸沢地区公民館は「戸沢地域市民センター」として、今年の年末には誕生する予定であります。ここには、市立図書館の分館を設け、生涯学習の読書環境を整えてまいります。また、「富本地域市民センター」も耐震改修工事を進め、安全で安心して集うことができる地域の拠点施設にしてまいります。「大久保地域市民センター」も三月に耐震工事が完了してお

ります。

さらに、十二年目となる「市民大学むらやま元気塾」や、生涯学習支援事業にも力を入れてまいりたいと存じます。

● 芸術文化活動・スポーツの振興

芸術文化は、生活を潤いあるものにし、豊かな人間性を育むものでもあります。子どもたちの豊かな感性を育むために、教育活動における文化活動支援はもとより、地域の文化活動がよ



まちなかをさわやかに走り抜ける徳内マラソン

り盛んになるよう、市民の主体的な芸術文化活動も積極的に支援してまいります。

スポーツは、心身両面にわたる健康保持増進の基礎となるものです。生涯スポーツあるいは競技スポーツをおこなうことは、爽快感や達成感、連帯感など精神的な充足や「生きがい」にもつながり、人生を有意義にするためにも必要なことと考えております。その意味でも、本市においてスポーツが一層振興するよう、地域スポーツクラブの育成支援をはじめ、優秀選手へ激励支援等を推進してまいります。

日本のウォーキング人口は約四千万人、ランニング人口は約一千万人というデータもあるようで、年々取り組み人口が増えているようです。「徳内マラソン&ウォーキング大会」は、そのような流れを踏まえた大会であると思います。次回大会で十回目の節目の大会となりますので、記念に残る大会としてまいります。

● 交流とネットワークづくりの促進

今や、地域づくりにおいて、「交流」は地域活性化の基本中



塩竈市と村山市の子どもたちが相互に体験交流

の基本となっております。「地域は人が力をつけることによつてしか再生しない。そして他人との交流がそのエネルギーの基である」と早稲田大学教育・総合科学学術院長の宮口佃教授もおっしゃっております。

村山市では、これまで「交流創造都市」を掲げ、交流による創造力に着目し、さまざまな交流活動を展開してまいりました。が、新年度も「交流」を地域づくりの中核の手段・方法と位置づけ、積極的に交流事業を展開してまいります。

年間約四千万人と日本一観光参拝数の多い東京浅草・浅草寺



広がる友好都市とのまつり交流

ですが、本堂に最も近い位置にある宝蔵門に、村山市奉賛会が奉納した「大わらじ」が掲げられていることは、村山市民のみならず山形県民の誇りとなっております。この大わらじ奉納が縁で平成二十年、東京都台東区と友好都市の盟約を結び、間もなく五年を迎えます。節目となる記念の交流事業をおこなうとともに、すでにおこなっている数々の交流事業をさらに深め温めつつ、交流人口の拡大と新たなネットワーク形成にもつながる市民等の取組みにも期待したいと思います。

また台東区、豊島区等の首都

圏のみならず、仙台圏、特に塩竈市、そして厚岸町、西海市等との交流にもより工夫を凝らし、無理のない交流の推進を図ってまいります。

**(2) ゆとりある住みやすいまち
（都市基盤整備・産業経済の振興）**

住みやすいまちを実現するためには、都市機能の充実と基盤整備、そして農業、商工業をはじめ産業経済の振興が非常に重要であります。新年度は、より住みやすい村山市づくりに向け、道路等の都市基盤整備とともに、農工商連携、観光振興などにも積極的に取り組んでまいります。

**● 産葉プラザと連携した
地域のつながりづくり**

今年の五月で産葉プラザのオープンから三年が経過します。今年一月には利用者が七十万人を突破し、当初の想定を大きく上回るペースで推移しており、有効活用されていることをとてもうれしく思っております。

新年度も、市民の方々が事業展開しやすい環境づくりを心がけ、引き続き産葉プラザ市民委員会のみなさま方の力も借りながら「にぎわいのまち」を創造

すると同時に、八つの地域と産葉プラザの連携もより一層意識しながら、地域が産葉プラザでつながるようになっていきたいと存じます。

**● 都市基盤・道路網・
公共交通基盤の整備促進**

道路は、市民生活の利便性を確保する基盤であります。車社

会においては、道路環境の良さあしが、生活の便利さや快適さにも大きく関係します。市道の整備は、新年度も計画的におこなってまいります。

市道のみならず国道、県道の整備も関係機関とも密に連絡を取りあい、整備が進展するよういたします。

東北中央自動車道の整備ですが、村山市区間の

工事はだいぶ目に見える形で進んでまいりました。早い開通を市民は待ち望んでいると思えますが、新年度追加インターチェンジの工事をはじめ、事業がより進展するよう関係機関への働きかけを積極的におこなうとともに、開通後の状況も想定しながらまちづくりを進めてまいります。

橋りようは「長寿命化計画」に基づき整備を進めますが、道路の補修も適宜おこない、



工事が進む東北中央自動車道

安全な道路環境を整備してまいります。

大旦川の整備については、国の事業として約二十四億円を投じて排水機場の改築を現在おこなっておりますが、平成二十五年度で完成予定であり、次の整備へと進めてまいります。

駅西開発に関しましても、市道整備をはじめ、計画的に着々と展開してまいります。

また、公共交通は、特に交通弱者といわれる高齢者や高校生などにとっても重要な意味を持ちます。平成二十四年度から乗合タクシー事業の実証実験を市



にぎわいの拠点 産葉プラザ

内二地域でおこなってありますが、いずれの地域でも当初の予想を上回る利用があり喜ばれております。一年間の実証実験終了後、その検証等を踏まえ、十月からは本格運行をおこなってまいります。

また、村山駅東口の北側に、村山産業高校開校を見越した駐輪場を新たに整備し、利便性の向上を図ってまいります。

●公共環境・居住環境の整備推進

公共建築物の耐震化として、防災拠点である市庁舎の耐震改修設計および非常用発電装置の更新をおこないます。

個人の所有する住宅等の耐震化もとても大切です。「住宅リフォーム支援事業」で約百六十件のリフォーム等の補助をおこなうとともに木造住宅耐震改修なども進め、地震に強いまちづくりを前進させます。

●産業の振興 (農業・商業・工業・その他の産業)

市民の生活を支え雇用を生む「産業」は、非常に重要であります。

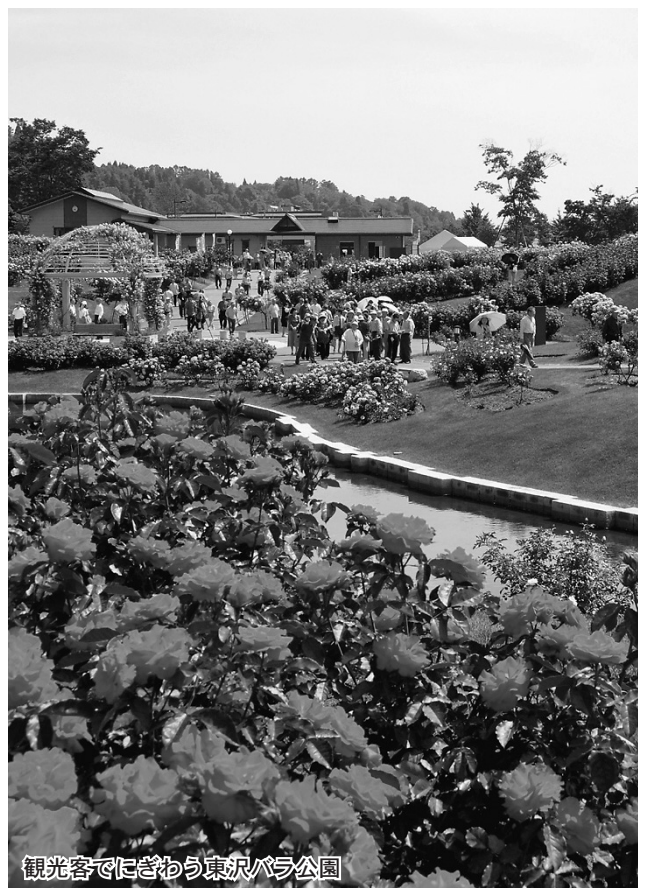
厚生労働省の委託事業「地域



活躍するさくらんぼサポート

雇用創造推進事業」は、平成二十四年度をもって三年間の期限を終了しますが、三年間で当初計画より五十人近く多い約二百人の雇用が生まれ、とても効果の高かった事業であると捉えております。セミナーを通して学び、そして自分の能力を開花させることによって雇用につなげることは、とても意義あることであり、次期計画も採択されるよう厚生労働省に働きかけてまいります。

農業は、人が生きる上で必要不可欠な食糧を生産する重要産業です。本市は、かねてより農



観光客でにぎわう東沢バラ公園

業を重視してまいりましたので、国の食糧生産基地の主要地域といっても過言ではありません。農業政策に関しては、これまで以上に力を入れ、より高付加価値の農産物を生産できる体制づくりや農業従事者に元気が出る環境づくりもおこなってまいります。

そのひとつとして「農商工合同産業基盤強化海外視察研修」を実施し、やる気のある農商工事業者を育て支援してまいります。また、「農商工連携・農業6次産業化総合支援事業」や「青年就農給付金事業」、「県営土地

改良事業」などにも国県と一体となって取り組み、後継者育成ならびに本市の農業基盤づくりにも努力してまいります。

●観光のまちづくりの推進

近年、観光の形や傾向が大きく変わってきております。かつては、団体旅行中心であったものが、個人や小グループ中心の旅に変化してきており、また、大手旅行会社が首都圏等のニーズを一方的に探って企画していた「発地型観光」から、観光客を受け入れる地域が自ら持つ観光資源を活かして企画する「着

地型観光」へと、各個人の主体性や観光地の独自性が問われるような観光になってきています。村山市でも、その流れに乗り、観光客が何度でも訪れてくれる

観光地になるために、大手旅行雑誌のノウハウを活用した「着地型観光パンフレット制作事業」に初めて取り組んでまいります。また、市の観光の中核のひとつである「東沢バラ公園」のバラ栽培管理等については、よりよい



6月15日にオープンするクアハウス基点大浴場の模型

かたちでの管理体制を整えてまいります。新年度、夏前にはクアハウス基点の露天風呂を含めた新しい大浴場が完成いたします。これまでも増して、魅力を持った基点温泉となることが期待されています。また、何よ

りも、繰り返し利用してくださる地元のみなさま方から愛される温泉となるようにしていきたいと存じます。

日本全体で今後ますます高齢化が進むといわれています。諸外国からも「高齢化施策は最も高齢化の進んだ国日本に学べ」といわれているといえます。村山市の高齢者向けのさまざまな施策が、今後、国のモデルになることも十分あり得ます。

(3) 支えあい健康で暮らしやすいまち

(保健・医療・福祉・生活環境・安全快適)

● 保健・医療・福祉の連携と地域福祉の充実

保健活動は、暮らしやすいまちづくり施策の中心をなすものです。

新年度も「保健・医療・福祉」各分野の連携を密にしながら、それぞれの事業を効果的に展開してまいります。高齢化社会にあつて高齢者の健康保持はもちろん、若い方々が健康で働き生活することができるよう、新年



旧村山保健所で障がい者福祉サービス事業を開始

度は、「健康むらやま21計画」の第二次の策定を予定しており、これまで以上に「予防」にも重点をおいてまいります。

障がい者福祉の面でもいくつかの進展があります。「村山特別支援学校楯岡校」が、今年四月から単独校化し、名称も「楯岡特別支援学校」となります。支援学校を卒業後の進路や就労の場が課題でもありましたが、県村山総合支庁北庁舎にある旧村山保健所をお借りし、社会福祉協議会が主体となり、総合福祉支援センターとして障がい者福祉サービス事業を開始いたします。

●子育て医療・子育て環境の充実

子どもは、村山市の宝物であります。子どもや子育てに関する施策をさらに重点化し、また、可能な限り積極的に事業展開してまいります。

新年度は、平成二十七年度からの子ども政策の柱となる「子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、調査、審議等をおこなってまいります。

子育て支援医療給付事業に関しては、新年度より、小学四年

生までだった対象学年を拡大し、小学六年生まで無料といたします。平成二十二年度までは未就学児だけが無料でしたので、この三年間で大幅に拡充することになります。

また、いまや六人に一人といわれる不妊で悩んでおられる方々を支援するため、特定不妊治療費は「全額助成」、「不育症治療費」の一部助成も継続いたします。さらには「産婦・乳児一か月健診無料化」も引き続き実施いたします。これらの助成の取組みは、山形県内の自治体に先駆けて平成二十四年度から



1歳6か月検診の様子

実施しているもので、県内外の市民や自治体からも注目されており、まさに先進的な取組みといえるものです。

「放課後児童健全育成事業」ですが、新年度からは市内全域の小学校児童が学童保育所を利用できる体制となりました。「地域子育て支援拠点事業」や「ファミリー・サポート・センター事業」なども引き続き実施するとともに、子育て施策に関しては、先進的施策の調査研究もおこないながら、内容をさらに充実させ、よりよい子育て環境づくりに努めてまいります。



全小学校区で実施される学童保育所

●公共と民間における「E」環境づくり

生活になくなくてはならない電気や熱源は、「再生可能な」エネルギーから求めることが環境負荷も少なくていいと考えています。その意味で、今や技術的にも成熟し、普及が広がっている「太陽光発電」を、本市でもさらに普及させたいと考えております。

昨年、山形県において「新エネルギー戦略」のもと、楯岡笛田地区の旧園芸試験場ほ場用地に、県が主体となる「メガソー



徳内・シーボルトラインとメガソーラー設置予定地



道の駅に設置された電気自動車急速充電器

ラー」としては初めての施設が作られることに決定しました。新年度、いよいよ建設が始まり、秋には完成する見込みです。二・六ヘクタールで三百十世帯分。積雪地におけるメガソーラーとしての実証実験も兼ねての整備です。県内初の施設でもありますので、たいへん期待をされているところです。

また、「太陽光発電システム設置補助事業」も引き続きおこない、住宅や事業所への設置を促進いたします。あわせて、楯岡中学校などの公共施設に太陽光発電システムを設置するとともに、「森林資源活用促進事業」

や「木質バイオマス燃焼機器設置補助事業」に新年度初めて取り組み、薪ストーブやペレットストーブ設置を促すことにより、化石燃料の使用を抑制し、地球温暖化の防止につなげたいと考えております。

●安全・安心な環境と防災体制づくり

地域の安全を守り、安心して暮らせる環境を整えるのは、行政としての大きな役割でもあります。

防災行政無線は今から約三十年前、県内他市町村に先駆けて村山市が導入した仕組みです。

しかしながら、県レベルで見ると山形県はこの防災行政無線の整備普及率が全国最低レベルとなっております。東日本大震災をきっかけとして、県では防災行政無線の普及を進めようとしています。本市では、新年度より二か年かけて最新型に更新いたします。

また、震災後、「自主防災組織」の重要性が再認識されました。本市は一〇〇パーセントの組織率ですが、自主防災組織の意識高揚と活動活性化を図るため、資機材の購入の際に支援を



最新型に更新する予定の防災行政無線

おこなう「自主防災組織支援事業」に、新年度、新たに組み込んでまいります。

消防署職員も、先日おこなわれた県の意見発表会で優勝し、四月に盛岡市で開催される東北大会に県代表として出場を決めるなど、士気がとても高いものがあります。消防関係では、消防ポンプ自動車や防火水槽など、消防・救急施設整備を順次計画におこなってまいります。

また、今、高齢化で増加した高齢者ドライバーによる交通事故の増加が問題となっており、その対応策として、高齢者ドライバーの方々に運転免許証を自主返納していただく取組み

み、地域の福祉向上に努めてまいります。

(4) みんなでつくる元気なまち (市民活動・協働・行政運営)

冒頭にも触れましたが、本市の最上位の計画であります「第四次総合計画」は、平成二十五年度が最終年度となります。新年度は、第五次にあたる総合計画を策定し、平成二十六年度からこの計画に基づき施策展開できるようにしてまいります。

市民と行政とが協働して、村山市の進むべき道と夢を多く盛り込んだ「第五次総合計画」を策定していきたいと考えております。

が効果を発揮しているようであり、本市でも新年度より新たに着手いたします。さらには、「超高齢集落支援事業」や「外出支援サービス」などにも取り組み

●市民活動・地域での話し合いの促進

村山市は、八つの地域が有機的につながり、全体として「村山市」をかたちづくっています。八つの地域がそれぞれ活性化し、元気な地域であることが村山市全体の元気や活力を支えるものと思います。そのことから、それぞれの地域における市民活動、地域づくり活動が、より活発になるようにしていかなければなりません。総合計画策定に合わせ、各地域で四年前に策定した「地域計画」の見直しも計画しております。地域での「話し合



ひっぱりまつりの様子

い」のプロセスは、地域活性化にとってとても重要なことです。戸沢の「ひっぱりうどん」による地域づくりがいま注目されていますが、前回の「地域計画」づくりの際の「地域での話し合い」から得られた成果と認識しております。各地域で、前向きな話し合いが展開され、これを超える取組みが続々と誕生することを期待しております。

●「ボランティアアシティ むらやま」の推進

市内の震災ボランティアグループに、「みどりの会」があります。山形新聞紙上でも何度か紹介されましたが、若者らによるボランティアで運営されており、今や百人以上の仲間によって継続的に被災地支援がこなわれております。村山市民は、かねてよりボランティア参加意識が極めて高いと感じておりましたが、その代表的な組織であると思います。

昨年末、山形県民は「ボランティア活動参加率」が全国一位であることが発表されました。今年度も「ボランティア活動事業補助金」などで、事業支援をおこないながら、村山市が、み



被災地でボランティアを繰り広げる「みどりの会」

んなで助け合い、そしてボランティア活動がさらに盛んになるような風土、雰囲気づくりをおこなってまいります。ひいては、アメリカのテネシー州が「ボランティア州」といわれているように、「ボランティアアシティむらやま」という愛称がつくようになるとしたら、これは素晴らしいことではないかと考えております。

●光ファイバー網整備と議会ネット中継設備整備

インターネットは今や社会、文化、経済など、あらゆる活動

の社会的インフラとして利用されるまでになっています。

村山市ではこれまで、光ファイバー網の整備は楯岡局管内のみでしたが、今年度には未整備の地域である大久保、富本、戸沢、袖崎、大高根の各地域の整備をおこないます。これにより、市内全域で光ファイバー網が完備されることとなります。

これと歩調を合わせ、議会の模様をインターネット中継で配信できる設備も整え、同時に議会の新たな音響機器の設備も導入いたします。これにより、身近な議会活動の推進が一層可能になるものと思います。

●ふるさと納税寄附・市民サービス向上ほか

ふるさと納税ですが、平成二十四年一月から、インターネットを活用して納付できる仕組みを導入いたしました。そうしましたところ、平成二十二年度までの三年間は約二十人、金額も百万円前後で推移しておりましたが、平成二十四年度に入り急増し、人数はその六倍、金額も一気にその五倍もの寄附を全国各地からいただけるようになりました。インターネットの力に

改めて驚いております。今後、返礼品のさらなる充実を図り、寄附してくださる方がさらに増加するよう力を入れるとともに、寄附で村山市を応援してくださる方々の期待にも応えられるよう努力してまいります。

その他にも、市税の適正的確な課税、収納、水道を主とするライフラインの保守と確保、市庁舎の各課における窓口での心のこもった対応、わかりやすく懇切丁寧な行政運営など、より一層力を入れ、地域と人が輝く村山市づくりに努力してまいります。



整備された環境で楽しく遊ぶ園児たち

IV むすびに

「村山市民としての誇り、そしてシンフォニー」

以上、平成二十五年度の市政を運営するにあたり、基本方針および主要事業を申し上げます。た。

〈誇り〉

アメリカ・コロンビア大学名誉教授で日本文学者のドナルド・キーンさん（九十歳）は震災後、日本定住を決意し日本国籍を取得されました。「災難に出合っ、それでも頑張っている日本人は、世界的に高く評価されています。新しい日本を見届けたい。日本人の立派さというものを深く感じ入るのです」といつておられます。

なんと心に響く言葉ではないでしょうか。

また、駐日フランス大使を務め劇作家で詩人でもあったポール・クロードルは、太平洋戦争のさなか昭和十八年（一九四三年）にパリでこう言ったそうです。「日本は負けるだろう。日本人は貧しい。しかし高貴だ。世界でただひとつ、どうしても生き残ってほしい民族をあげるとしたら、それは日本人だ」とともに、日本に生まれてよか

ったと誇りを感じる言葉だと思えます。

「日本に生まれてよかった」が、「村山市に生まれてよかった」と思えるように、そして、村山市で誇りを持ちながら暮らせるように、新年度、新たな気持ちでまちづくりに取り組んでまいります。

〈シンフォニー〉

第一義的には「交響曲」を意味しますが、「いろいろな異なった要素が調和し、交じりあつて、ある効果を生み出すこと」をも指します。

村山市に住む一人ひとり、いろいろな力を持っています。その力や持ち味を互いに出し合い、また、ほかの地域や人との多様な交流をおこなうことよって、より豊かな、そして趣味味のある「村山交響曲」を紡ぎだし、その曲をみんなで奏で合うことができれば、より輝く自治体になるのではないのでしょうか。そんな新年度にしていきたいと考えております。

以上、平成二十五年度に向けて、市政運営に関する私の考え

の一端を申し上げます。議員各位ならびに市民のみなさま方の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

市政方針は二月二十八日の市議会三月定例会初日に示されました



円熟したハーモニーを奏でる山形交響楽団

表彰 おめでとーびーぞーいませす

保健衛生関係功労者

三月七日、保健衛生関係功労者の県知事表彰が県庁でおこなわれました。これは、長年にわたり保健衛生業務に精励し、その発展向上に寄与した功績が認められる方が贈られるもので、市内では次の方が受章されました。

疾病予防功労者



小室 淳さん (袖崎)

小室さんは、平成元年から村山保健所内の結核審査協議会委員として、長年結核患者の入院や医療費の公費負担の適否について審査に従事されました。現在も協議会の審査に携わり、保健行政へ大きく貢献されています。

栄養関係功労者



奥山よね子さん (大久保)

奥山さんは、平成九年から市食

生活改善推進員として食生活の改善、普及、向上に尽力されました。県食生活改善推進委員連絡協議会理事、副会長などを歴任され、現在、市食生活改善推進員連絡協議会会長として地域の伝統料理の継承などにも取り組まれています。

第47回山形県写真展

第四十七回山形県写真展が山形美術館で開催され、応募作品四百二十六点のうち、市内から次の方が入賞されました。(敬称略)

入賞

◆県議会議長賞

安達 智 (袖崎)

◆努力賞

樽石 良一 (楯岡)

入選

笹原 潔 (楯岡)

榎本 和彦 (楯岡)

矢口 宏之 (楯岡)

工藤 広顕 (楯岡)

工藤 哲朗 (西郷)

滝田 開喜 (西郷)

鈴木 三郎 (戸沢)

安達 智 (袖崎)

第5次総合計画策定審議会の委員を公募します

村山市では、現在、第4次総合計画に基づいて市政運営をおこなっていますが、平成25年度が計画の最終



年度を迎えるにあたり、今年度内に「第5次村山市総合計画」を策定します。

よりよい計画にするため、市民や有権者等からなる「策定審議会委員会」を組織し、計画の内容を審議いただきます。委員の一部を公募しますので、ご応募ください。

■審議会委員の方の主な役割

総合計画の策定に係る調査・審議 (市の提案に対する意見交換)

※委員になられた方には、市条例に基づき、謝礼と交通費を支給します。

応募要件 18歳以上の市民

応募方法 所定の応募用紙に、必要事項を記載し、郵送、ファックス、電子メール、持参のいずれかの方法で応募してください。応募用紙には、「応募理由」と「これからのまちづくり」についての提言作文(計1,200字程度)を記入していただきます。

応募用紙 市企画財政課(市役所2階)、各地域市民センターにあります。市ホームページからダウンロードもできます。

募集人数 若干名

申込期限 4月15日(月)

申込み・問い合わせ

市企画財政課企画係 ☎内線 224

3.11 絆 村山市は3・11を忘れない

東日本大震災復興支援イベント「3・11絆 村山市は3・11を忘れない」が三月十日、甌葉プラザでおこなわれました。震災の記憶を忘れず防災意識を高めようと、村山市のボランティアサポート村山（三浦聡代表）が昨年に引き続き開催したものです。

当日は市内の中高生約百二十人が参加し、炊き出し体験や募金活動、エコキャンドルづくりなどがおこなわれました。炊き出し体験では「絆食堂」を開設し、そばやそばガレット、玉こんにゃくなどを来場者に提供。また、市内のスーパーや道の駅などでおこなわれた募金活動では、買い物に訪れた



方に「東日本大震災への義援金をお願いします」と呼びかけ、多くの善意が寄せられました。



塩竈市から郷土料理

会場には、宮城県塩竈市から「おがま感謝隊（阿部勝雄代表）」と塩竈市婦人会のみなさん十人が訪れ、サンマのつみれとタラの切り身が入った「おがま汁」約三百食が振る舞われました。

「おがま感謝隊は、大震災により仮設住宅で生活する塩竈市民を中心とした方で構成され、村山市からの炊き出しなどに対するお礼として駆け付けてくれました。」

次の世代に伝えよう

最後におこなわれた「ボランティアミーティング」では、石巻市復興を考える市民の会の藤田俊彦代表と鈴木安夫さんを招き、楯岡高二年生五人と意見交換をおこないました。生徒たちは「災害時に一番必要なものは何か、大震災を次の世代にどう伝えればいいのか」などを質問。藤田代表は「一番必

東日本大震災の義援金 受付を延長します

心温まるたくさんの義援金をお寄せいただき、大変ありがとうございます。みなさまの善意は被災地の復興等に役立てられています。

市福祉事務所では塩竈市への義援金と日本赤十字社義援金を、市社会福祉協議会では山形県共同募金と市内避難者への義援金（善意銀行）を受け付けています。いずれの義援金・募金も、受付期間を平成26年3月31日まで延長することにしましたので、引き続き、ご協力をお願いします。

3月15日までに寄せられた義援金の状況をお知らせします。

- 塩竈市への義援金 11,481,069円
(村山市からの見舞金100万円を含む)
 - 日本赤十字社義援金 4,397,654円
 - 山形県共同募金 55,787円
 - 市内避難者への義援金 385,000円
- 問い合わせ 市福祉事務所地域福祉係 ☎内線147



要なものは携帯電話だった。一方通行ではなく、双方の情報が大切。被災地を自分で見て、被災者と会話をし、感じたことを伝えることが一番」と答えていました。また、ミーティングでコーディネーターを務めた三浦代表は、「たくさんの中高生のみなさんが参加してくれて、とても頼もしい」とボランティア意識の高さを喜んでいました。

募金活動を報告します

「3・11絆」でおこなわれた募金活動で265,528円の義援金が集まりました。寄せられた義援金は被災地の復興などに役立てられます。



- 日本赤十字社へ 100,000円
- あしなが育英会へ 85,528円
- 石巻市復興を考える市民の会へ 80,000円

国保のお知らせ

問い合わせ
市保健課国保医療係
☎内線 134

こんなときは 14 日以内に届出を

「印鑑」と「保険証」、窓口にお越しの方の本人確認ができるもの（運転免許証など）を準備して、市民課窓口でお手続きください。

※高齢受給者証、減額認定証、その他の医療証をお持ちの方は、あわせてお持ちください。

	こんなとき	必要なもの
国保に加入	他市町村から転入してきた	転出証明書
	職場の健康保険をやめた	資格喪失連絡票、年金受給者の方は年金証書(加入年数のわかるもの)
	職場の健康保険の扶養からはずれた	資格喪失連絡票
	お子さんが生まれた	母子健康手帳
やめるとき	他市町村へ転出する	
	職場の健康保険に入った(扶養になった)	職場が発行する保険証
	死亡した	死亡を証明する書類
その他	退職医療制度に加入する	年金受給者の方は年金証書(加入年数のわかるもの)
	退職医療制度に該当しなくなった	
	住所、世帯主、氏名が変わった	
	修学のため他の市町村に住む	在学証明書
	修学期間が終わった	就職した場合は職場が発行する保険証
	保険証をなくした、保険証が汚れて使えなくなった	身分を証明するもの、使えなくなった保険証

窓口の一部負担金減免制度

災害や失業などの特別な理由により収入が著しく減少し、生活が一時的に困難となった場合には、申請により、医療機関窓口での支払いを減額できる場合があります。詳しくはお問い合わせください。

市民のみなさんの生涯学習活動を応援します

生涯学習活動支援事業

サークルや団体などが生涯学習活動を実施し、講師に謝礼を支払う場合、謝礼金の一部を助成します。計画決定後、早めに申し込んでください。

活動の例 各種団体・自主サークル・自治公民館の生涯学習活動など

助成額 年間2万円以内(ただし3年間支援を受けた団体は1万円以内)

申請方法 講師等を選定、依頼した後、事業実施日の2週間前まで申請書を提出してください。



生涯学習人材バンク

専門知識や技能を持つ方に指導者(人材)として登録していただき、講師を探しているみなさんに紹介します。

幅広い分野の人材がそろっています。

指導内容の例

読み聞かせ・民謡・落語・米粉パン作り・ヨガなど

利用方法

- ①市のホームページや各地域市民センター、市生涯学習課で「人材バンク」名簿を閲覧し、お願いしたい講師をみつける。
- ②市生涯学習課に講師の連絡先を問い合わせる。
- ③講師本人に連絡し、日程や謝金、内容などについて相談する。

問い合わせ

市生涯学習課生涯学習係 ☎内線 332

市民農園・オーナー農園利用者募集



収穫の喜びが体験できる市民農園と農園管理組合のみなさんが育てた果物等の収穫ができるオーナー農園の利用者を募集します。農家以外の方が利用できます。なお、応募多数の場合は抽選になります。

市民農園貸付期間 4月～平成26年3月

申込み・問い合わせ

楯岡グリーンタウンふれあい農園

市農林課農業振興係 ☎内線 252

最上川ふるさと農園・オーナー農園

市農村文化保存伝承館 ☎(53)3277

◇最上川ふるさと農園

管理組合のみなさんが農作業の指導をしてくれます。道具の貸し出しもおこないます。

区画数 33区画

貸付面積 50～100㎡

貸付料 3,000～5,000円

申込期限 4月15日(月)



◇楯岡グリーンタウンふれあい農園

楯岡グリーンタウン(楯岡北町)にある市民農園です。トマトやキュウリなど家庭菜園に最適な広さです。

区画数 26区画

貸付面積 30～74㎡

貸付料 2,000～4,000円

申込期限 4月12日(金)



◇オーナー農園

オーナー料

・大玉プルーン 2,000円(2Kg)

※宅配も可能。(箱代、送料が別途必要)

・サクランボ「佐藤錦」

45,000円～100,000円(1本)

※現地で収穫できる方に限ります。

申込期限 5月31日(金)

有害鳥獣捕獲の実施

ニホンザルによる農作物等への被害防止のため、市猟友会が捕獲をおこないます。事故防止のため、捕獲作業現場には絶対に近づかないようお願いします。



実施地域

市内全域(主に楯岡、大倉、袖崎地域)

捕獲方法

法定銃器(散弾銃等)

※「有害鳥獣捕獲員」と書かれた赤色の腕章を着用し、目立つ色のベストなどの服装で作業をします。

問い合わせ 市農林課農業振興係 ☎内線 252

地域雇用創造推進事業

セミナー
情報

問い合わせ 市地域雇用創造推進協議会事務局(甌葉プラザ内)
☎(52)3181・FAX(52)3532

■求職者・起業者向けの無料相談会

就職相談や履歴書の書き方・面接の心得など就職に関して、特定社会保険労務士が個別に相談に応じます。

平成25年度も毎月4回ずつ開催していきます。

相談料無料。相談希望者は事前にご予約ください。

期日 4月3日(水)、10日(水)、

19日(金)、27日(土)

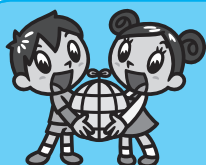
時間 午前9時～午後4時

会場 甌葉プラザ 2階 ラウンジ



◎協議会のホームページもご覧ください。各種セミナーの詳しい募集案内や最新情報、雇用に関する情報などを掲載しています。

アドレス <http://www.murayama-koyou.jp/>



環境都市むらやまを目指して

環境☆市民の広場

問い合わせ
市環境課環境係
☎内線 245

今年度の第4回村山市環境懇談会を3月15日に市役所で開催しました。懇談会では市環境基本計画の見直し案が了承され、計画の後半5か年に反映して取り組んでいきます。その他、環境施策に対し、活発な意見交換がおこなわれました。主な内容は右のとおりです。



協議内容

- ・市環境基本計画見直しについて
- ・環境施策の実施状況について
- ・新年度の環境施策と予算案について
- ・災害廃棄物の受け入れ状況 など

主な質疑・ご意見

- ・下水道未接続者への接続要請について
- ・不法投棄防止パトロールの強化について
- ・資源回収でのビン類回収促進について

微小粒子状物質(PM2.5)への対応について

西日本を中心に中国の大気汚染や黄砂の影響でPM2.5(微小粒子状物質)の濃度が上昇しています。県では、平成24年4月から環境科学研究センター(楯岡笛田)をはじめ、県内11か所で測定しています。また、県は環境省の対応指針を受け、当面のPM2.5への対応方針と注意喚起マニュアルを策定しました。本市もこれに基づいて市民への注意喚起をおこないます。

注意喚起の基準

午前5時から7時までの1時間値の平均値を測定して判断し、暫定基準の日平均 $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超える場合に注意喚起をおこないます。1時間値の平均値 $85\mu\text{g}/\text{m}^3$ は日平均 $70\mu\text{g}/\text{m}^3$ に相当するため、この時間帯に $85\mu\text{g}/\text{m}^3$ を超えた場合、県と市が午前7時30分をめぐりに注意喚起をします。
○注意喚起は県、市のホームページに掲載します。また、保育施設、小中学校、福祉施設等には直接連絡します。

○注意喚起は、1時間値が $50\mu\text{g}/\text{m}^3$ 以下に改善された場合に解除します。

注意喚起後の行動の目安

- 屋外で長時間の激しい運動を減らす。
- 不要不急の外出を減らす。
- 屋内でも換気や窓の開閉を必要最小限にする。
- 呼吸器系などに疾患のある方、小児、高齢者は特に注意する。

なお、環境科学センターの昨年4月からの日平均最高値は2月28日の $38\mu\text{g}/\text{m}^3$ で、注意喚起の暫定基準値を大きく下回っています。詳しくは市環境課へお問い合わせください。また県ホームページに測定値が掲載されています。



携帯電話、スマートフォンの方は、こちらのQRコードで県ホームページをご覧ください。

平成25年度環境関連補助事業のお知らせ

市では、環境保全や地球温暖化防止推進のため、各種設備の設置に対し以下の補助金を交付します。詳しくは要綱が定まり次第お知らせします。

- ・太陽光発電設備設置補助 3万円/kW(上限あり) ・木質バイオマス燃焼機器設置補助(新規)
- ・合併処理浄化槽設置補助 人槽により40万2千円から63万8千円
※合併処理槽への転換は県補助追加
- ・家庭用生ごみ処理機等購入補助 購入費の1/2(1万円上限)

住宅のリフォームを支援します

問い合わせ
市建設課建築係
☎内線 238

住環境の整備や消費需要の拡大、定住促進を図るため住宅リフォーム支援事業を実施します。

対象要件

次の要件をすべて満たす工事。

- ①自ら居住する住宅の増改築・修繕・模様替え等の総額 20 万円以上のリフォーム工事
- ②原則として、市内の建設・建築業者と工事の契約をすること
- ③平成 26 年 3 月 10 日までに工事完了報告書を提出できること
- ④市税等の滞納がないこと

対象となる工事例

住宅のリフォーム工事（増改築、外壁・屋根の張替えや塗装、窓の入替、畳・ふすま・壁・クロス等の内装、太陽光発電装置や省エネルギー設備の導入など）

対象とならない工事例

住宅の新築、車庫・物置等の新築や増改築、アパート・貸家・店舗・作業小屋の新築や増改築、門・塀・庭造り等の外構工事など



補助金額

- ①一般的なリフォーム工事
対象工事費の 10%（限度額 20 万円）
 - ②耐震補強工事（一部でも可）を含むリフォーム工事
対象工事費の 10%（限度額 30 万円）
 - ③山形県リフォーム総合支援事業費補助金交付要綱に定める要件に該当するリフォーム工事
対象工事費の 20%（限度額 40 万円）
- ※ただし、耐震補強（一部でも可）を含む場合は限度額 50 万円

補助金交付申請の受付

4 月 1 日(月)から受付開始
(予算の範囲内で先着順に決定します)

村山市の空間放射線量測定結果

◎いずれの測定地点でも人体に影響がない数値で、心配ありません

■県モニタリング計画による測定

県と市が連携し、市内 4 か所で毎月測定しています。3 月は 6 日に実施し、測定結果は 0.01 ~ 0.03 $\mu\text{Sv}/\text{h}$ でした。

■廃棄物搬入施設周辺の測定

災害廃棄物搬入施設周辺で、市が月 2 回、6 か所の空間放射線量を測定しています。

3 月は 6 日と 19 日に実施し、測定結果は 0.02 ~ 0.06 $\mu\text{Sv}/\text{h}$ でした。

問い合わせ 市環境課環境係 ☎内線 245

水道水の放射性物質検査結果

上水道は毎週月曜日に、4 つの簡易水道は 3 か月に 1 回の検査をおこなっています。いずれも放射性物質は検出されませんでした。

問い合わせ 市水道課工務係 ☎内線 183

気仙沼市の災害廃棄物受け入れ終了のお知らせ

平成 23 年 7 月から始まった宮城県気仙沼市の災害廃棄物（被災木チップ）の受け入れは、平成 25 年 3 月 25 日で終了し、搬入合計量は約 11,300 トンでした。

市内に搬入した被災木チップは、やまがたグリーンリサイクル(株)（金谷）で破碎処理した後、自然木チップと約半分ずつ混合し、やまがたグリーンパワー(株)（富並）の発電燃料に利用しました。なお、被災木チップの在庫により、発電への利用は今後約 1 か月程度続きます。

市と事業者では、受け入れ後から定期的に被災木チップ、焼却灰、排ガスなどの放射性物質の測定確認、施設周辺の空間放射線量の測定により安全確認を図ってきました。すべての調査結果が基準値を下回っています。今後も当面の間、空間放射線量の測定を継続し、安全確認をおこなっていきます。

市民のみなさんのご理解とご協力に対し、心よりお礼申し上げます。

問い合わせ 市環境課環境係 ☎内線 245

子育て支援情報

男女の出会い、妊婦さん同士の出会い、すてきな保育者との出会い、子どもの遊び友達との出会い、悩みを打ち明けられるお母さん同士の出会いなど、さまざまな人との出会いや子育てを応援します。市ホームページもご利用ください。

子ども・子育て支援新制度に向けた国の新しい仕組みづくりが始まります

平成二十四年八月に「子ども・子育て支援法」などの「子ども・子育て関連三法」が国会で成立し、新たな子ども・子育て支援制度が平成二十七年度にスタートする予定です。これは、消費税引き上げによる増収分の一部などにより、子ども・子育ての支援を充実させるもので、市町村や都道府県ごとに策定した事業計画に基づき実施されることとなります。

これに伴い、国は「子ども・子育て会議」を設置し、子育て支援の新しい仕組みづくりに向け準備を進めます。

本市も子育て推進本部を中心に準備作業をすでに始めており、今後は「村山市子ども・子育て推進審議会」を設置し、次世代育成支

問い合わせ
 子ども福祉係 ☎内線 149
 子育て推進係 ☎内線 159
子育て家庭の相談
 直通電話 ☎(53)4788

援対策行動計画「村山元気つ子プラン」の検証と評価、新制度の事業計画の策定などをおこなっていきます。

村山市子育て支援策一覧を作成

また、市子育て推進本部では、元気つ子プランに基づき実施してきた各課の子育て支援策を一覧にまとめていきます。新たな子育て支援事業計画策定に向けた審議会での話し合いやニーズ調査内容の検討など、市の子育て支援策の検証の際に利用していきます。

一覧は、市ホームページなどでご覧いただけます。



< 4月の親子交流イベント・講座 >

白抜き文字の行事 …☎親子交流ひろば ☎(53)0901

※記載がない場合、会場は親子交流ひろば

黒文字の行事 …☎子育て支援センターぐんぐん ☎(56)2002

※FAX 兼用、子育て相談もできます

ひだまり保健室

身長と体重の測定ができます。

日時 4日(木) 午前10時30分～11時

おばあちゃんと遊ぼう&ロンパーカーの日

地域のおばあちゃんと遊みましょう。なかよしルームを開放します。

日時 17日(水) 午前9時30分～11時30分

4月生まれのお誕生会

事前申込みが必要。先着15組。誕生月でないお友達もどうぞ。

日時 26日(金) 午前11時15分～正午

♥ファミサポ会員を募集しています♥

子どもの預かりや送迎など、子育てを手助けするむらやまファミリー・サポート・センターの利用会員と協力会員を募集しています。年度途中の登録はいつでも可能ですので、興味のある方はお問い合わせください。

☎NPO法人ポポーのひろば ☎(53)0901

ぐんぐん広場

未就学児の親子が対象。元気に、楽しく、仲良く遊びましょう。お気軽にどうぞ。

日時 27日(土) 午前9時30分～11時30分
会場 戸沢保育園

◆相談メールアドレス(ぐんぐん子育てメール)

gungunkosodate@city.murayama.lg.jp

◆NPO法人ポポーのひろばホームページ

<http://popoh.org/>

NPO法人ポポーのひろばホームページのQRコードはこちらです。

随時、季節の行事も開催していますので、こちらからチェックをお願いいたします。



クアハウス基点 4月～11月 無料送迎バス

(水曜日運行)

帰りのバスはクアハウス
基点を午後3時に出発し
ます。

問い合わせ クアハウス基点 ☎(56)3351



戸沢・岩野方面	運行日		宮下・平和の森	8:50
	4/3	6/5	宮下公民館	8:52
7/3	8/7	中里工業	8:53	
9/4	10/2	土海在家公民館	8:56	
11/6		樽石バス停	9:02	
		岩野会館	9:04	
大高根方面	運行日		小滝公民館	8:50
	4/10	6/12	はとや	8:53
	7/10	8/14	山の内・井上商店	9:00
	9/11	10/9	鹿野理容室	9:05
	11/13		深沢・土屋美容室	9:06

北村山公立病院 職員採用選考試験



採用予定職種 助産師、看護師
(各若干名)

受験資格 当該職種の資格免許取得者

試験日時 5月18日(土) 午後1時～

試験会場 北村山公立病院

試験種目 作文試験、面接試験

受付期間 4月1日(月)～5月10日(金)
※土曜・日曜日、祝日は除く

受付時間 午前8時30分～午後5時15分

◎申込方法など詳しくは、お問い合わせく
ださい。受験申込用紙は病院経営管理課
総務係で交付します。病院ホームページ
からも取り出せます。

アドレス <http://www.hosp-kitamurayama.jp>

申込み・問い合わせ

北村山公立病院経営管理課総務係 ☎(42)2111



タクシー・クアハウス基点 の利用券を交付します

市では、一定の障がいのある方
にタクシー運賃やクアハウス基点
の入浴料が割引になる利用券を交
付します。対象の手帳をお持ちの
方は、申請してください。

申請に必要なもの 各種手帳、印鑑
申請窓口 市福祉事務所(市役所1階)

■福祉タクシー

対象 身体障がい者手帳(1級～
4級)、療育手帳、精神障がい者
保健福祉手帳

助成額 券1枚で基本料金の9割
交付枚数 月2枚(年間最大24枚)

■リフト付きタクシー

対象 下肢または体幹障がい1
級・2級の身体障がい者手帳
助成額 券1枚で2,700円
交付枚数 月1枚(年間最大12枚)

■クアハウス基点入浴

対象 身体障がい者手帳、療育手
帳、精神障がい者保健福祉手帳
助成額 券1枚で150円(小学
生は100円)

交付枚数 年間12枚

問い合わせ

市福祉事務所生活福祉係 ☎内線143

国民年金情報

平成25年度の国民年金保険料は
月額15,040円です。納期限
まで忘れずに納めましょう。

学生納付特例の申請は毎年度
必要です

学生納付特例制度は、在学期間
中の保険料の納付を猶予する制度
です。大学(大学院)、短大、高等
学校、高等専門学校、各種学校等
に在学する学生が対象となります。
申請には、在学証明書または学
生証の写し、印鑑、年金手帳が必
要です。ただし、平成24年度に承
認を受けた方で、申請時に「平成
25年4月以降も引き続き同じ学校
に在籍予定」とした方には、ハガ
キ形式の申請書が送付されますの
で早めに提出してください。

なお、平成24年度の申請は、4
月末まで受け付けます。

定例年金相談

寒河江年金事務所へご希望の時
間をご連絡ください。

期日 4月12日(金)

時間 午前10時～午後3時

会場 市商工会館

問い合わせ 寒河江年金事務所

☎0237(84)2551 または

市民課国民年金係 ☎内線115

まちの話題

わらじづくりを継承／楯岡荒町

東京浅草・浅草寺に奉納する大わらじを作っている楯岡荒町町内で3月2日、わらじづくり講習会がおこなわれました。この講習会は、大わらじ奉納を継承するため平成11年に設立された浅草観音荒町参拝講（土谷義博会長）のみなさんが、奉納する際に履く自分のわらじを自分で作ることができるようにと、昨年からおこなっています。講習会とは言うものの、みなさんとでも上手で熟練した方ばかりでした。



段々ロングな雛まつりオープニング

今年で10年目となる段々ロングな雛まつりが、3月15日から20日まで甕葉プラザで開かれました。15日にはオープニングセレモニーがおこなわれ、村山三曲協会が琴と尺八で雛まつりの雰囲気盛り上げ、訪れた人たちは約6,000体の雛人形に圧倒されていました。4月から保育園に入園する西村かのんさんは「私も早く作ってみたい」と話しながら、園児たちが作った人形を眺めていました。



自治公民館が完成／富並・森地区

大高根地域の森地区自治公民館が改築され、平成24年12月24日完成しました。設計や建築に地元業者や住民の方が関わって完成した公民館。3月10日には完成祝賀式がおこなわれ、地区住民と関係者約50人が参加し、記念撮影やテープカットをしました。

式典では、森地区の猪藤英雄区長が「避難場所としても活用できる新しい公民館を有効に活用していきましょう」とあいさつし、完成を祝いました。



葉山中ボランティア運営委員会が遊具を寄贈

葉山中生徒会のボランティア運営委員会が3月14日、資源回収で集めたアルミ缶の収益金で購入した屋内用すべり台1台とシーソー2台を市に寄贈しました。宮林エミリ前委員長と松田百華奈現委員長は「地域のみなさんの協力で集めた収益金で購入できました。楽しく遊んでほしいです」と話していました。

いただいた遊具は、児童発達支援事業所「いずみ」で使用していきます。

お知らせ

市役所は
TEL(55)2111
FAX(55)6443

農林課からお知らせ

☎市農林課農村林務係 ☎内線254

■森林の土地を取得したときは届出が必要です

新たに森林の土地の所有者となった方は、法律により届出が義務付けられています。詳しくは、お問い合わせください。



対象者 面積に関わらず、売買や相続等により森林の土地を新たに取得した個人および法人

届出期間 土地の所有者になってから90日以内

■森林の立木伐採には届出が必要です

森林の立木を伐採するときは、法律により届出が義務付けられています。また、保安林での伐採や伐採面積が1ヘクタールを超える場合は、別途手続きが必要です。届出をしないで伐採すると罰金を

科せられる場合があります。森林の立木を伐採する際は、あらかじめお問い合わせください。

届出期間 伐採を始める90日から30日前

■山火事を防止しましょう

山の火事 もとは小さな火種から私たちの大切な財産である森林を守るため、火の取扱いは十分気をつけましょう。



危険物取扱者・消防設備士
免状をお持ちの方へ

☎(財)消防試験研究センター山形県支部
023(631)0761

消防法令により、危険物取扱者

および消防設備士の免状交付後10年以内ごとに、免状に貼ってある写真を新しいものに取り換える「写真の書換え」をしなければいけません。まだ写真の書換えがお済みでない方は、速やかに手続きをしてください。なお、書換申請書は市消防本部にもあります。

困りごと・相談

市民行政相談

☎市民課市民係 ☎内線112

行政機関への苦情、要望、困りごとなどに行政相談委員が応じます。予約不要、当日会場にどうぞ。

期日 4月11日(木)

時間 午後1時～3時

会場 市農村環境改善センター

無料登記相談

☎県土地家屋調査士会北村山支部
宮林晃 ☎(54)2895

土地家屋調査士、司法書士が土地の境界や登記について無料で相談を受けます。当日、会場にお越しください。

期日 4月21日(日)

時間 午前10時～午後3時

会場 さくらんぼタクトセンター(東根市)

憲法記念行事無料法律相談会

☎県弁護士会事務局
023(622)2234

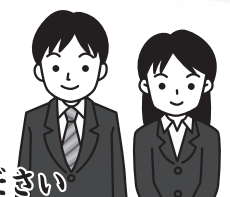
当日の申込状況により、受付終了時間が繰り上がる場合があります。
期日 5月8日(水)
時間 午前10時～正午、午後1時

春の宴会プラン

歓送迎会
お花見

各種お祝い・ご宴会
法事会席など

お気軽にご相談ください



出前・配達承ります

☎55-7172

駅東口より徒歩2分 1年2組二階 〇完備

旬彩 SYUBOU
桜坂

入学・就職
おめでとーございませう

ファミリーフォトキャンペーン
スタジオ記念写真
年齢割引致します
詳しくはお問い合わせください
— 肖像写真一級技能士 —
大正堂写真館 ※予約制です
村山市橋岡十日町 2-13 TEL (53) 2628

春の宴会プラン
歓送迎会
お花見
各種お祝い・ご宴会
法事会席など
お気軽にご相談ください
出前・配達承ります
☎55-7172
旬彩 SYUBOU
桜坂
駅東口より徒歩2分 1年2組二階 〇完備
入学・就職
おめでとーございませう

3時(受付は午後2時30分まで)
会場 県弁護士会館(山形市)

募集・試験

県営住宅入居者募集

☎県すまい情報センター

☎023(647)0781

■県営楯岡アパート(楯岡笹田)

募集戸数 2戸(1階・2階)
申込資格 同居または、同居しようとする親族がある方で、所得が規定に該当する方。
※家賃はお問い合わせください。
必要書類 県営住宅申込書、50円切手2枚

受付期間 4月3日(水)～9日(火)

※県すまい情報センター(霞城セントラル22階)は月曜休館

離職者のための職業訓練

☎山形職業訓練支援センター

☎023(686)2016

離職等で再就職を希望し、ハローワークに求職登録している方が対象の職業訓練です。受講料は無料ですが、テキスト代等が必要。
募集料 NC生産システム科
定員 18名
訓練期間 6月4日(火)～11月26日(火)
申込期限 4月25日(木)

小学生～高校生の国際交流

☎(財)国際青少年研修協会

☎03(6459)4661

夏休みを利用し国際交流、英語学習してみませんか。詳しくはホームページ <http://www.kskk.or.jp> をご覧ください。

内容 ホームステイ・ボランティア・文化交流・英語研修など

場所 米国・英国・豪州・カナダ・サイパン・カンボジア・フィジー
対象 小学3年～高校3年生まで
日程 7月下旬～8月中旬(行き先によって異なります)

参加費 228,000円～578,000円
申込期限 6月3日(月)

調理関係の国家試験

☎(社)調理技術技能センター

☎03(3667)1867

◆調理師試験

申請書配布場所 県庁、保健所
受験申請受付期間 4月22日(月)～6月6日(木)
試験日時 8月24日(土) 午後1時30分～

試験会場 青森県、埼玉県など
◆調理技術審査・技術検定試験

受験申請受付期間
前期(寿司料理、中国料理、給食)

用特殊料理) 4月3日(水)～5月7日(火)

後期(日本料理、西洋料理、麵料理) 9月3日(火)～10月4日(金)

実技試験 前期 7月27日(土)～8月23日(金) 後期 平成26年1月18日(土)～2月14日(金)の間の指定する日

◎詳しくはホームページをご覧ください。
<http://www.chouri-gcc.or.jp>

古文書勉強会

☎吉田谷忠司

☎(55)2622

江戸時代の文書を勉強します。参加費は無料ですが、資料代などの実費分をいただきます。

期日 4月11日(木)(毎月第2木曜日)

時間 午後2時～4時
会場 市民会館小会議室

市クラブ対抗ゴルフ大会

参加者募集

☎さくらんぼカントリークラブ

☎(53)3311

期日 4月29日(月・祝日)

会場 さくらんぼカントリークラブ

参加資格 市内在住または市内に勤務している方

参加料 1チーム 110,000円(各チーム4～5人でお申込みください)

プレー代 メンバー 4,500円、

夏過ぎても おいしいお米にしませんか？

ぜひ米冷蔵庫をご利用ください



- ・カビのはえた米
- ・まずい米
- ・かさばる米置き場

1袋100円でご利用できます

こめやかたエネルギーのサカイ

☎53-2857 村山市楯岡鶴ヶ町 2-2-6

お花の教室へのお誘い



始めませんか
フラワーライフ

伝統的ないけばなからモダンなアレンジまで自由で多彩な表現方法が学べます

- 楯岡地域市民センター (月2回) 小学生から大人まで
- お問い合わせ 押野 TEL 080-6001-9140

22日(月) 訓練内容・期日 通常訓練 1日
 8日(月) 5日(金) 8日(月) 12日(金) 15日(金)
 へり離着陸訓練 11日(月) 12日(金) 19日(金)
 26日(金) 15日(月) 19日(金)

陸上自衛隊大高根演習場
 使用予定(4月分)
 ④神町駐屯地 ☎(48)1151

スポーツや文化、ボランティア、地域活動中の万が一に備えましょう。5名以上の団体で加入できます。
保険期間 加入の翌日から平成26年3月31日(月)まで
年間掛金 (1人分) 中学生以下 800円・1,450円 大人 800円・1,850円(活動種類で額が異なります) 65歳以上 1,000円 大人(子どもの指導演定) 1,300円 危険度の高いスポーツ 11,000円
 ◎申込用紙は、市生涯学習課または市民体育館にあります。

スポーツ安全保険に加入しよう
 ④(公財)スポーツ安全協会山形県支部
 ☎023(642)8321

ビシター 7,000円(飲食代は別)
申込期限 4月17日(水)
申込方法 参加料を添えてお申込みください。

真下慶治記念美術館へどうぞ

常設展示室「最上川 I」



洋画家真下慶治が描いた最上川の風景画を展示します。

期間 4月12日(金)～6月18日(火)

企画展示室 「中山光広 人物素描展」

山形デザイン専門学校の講師で洋画家の中山光広氏の人物素描作品を展示します。

期間 4月12日(金)～5月21日(火)

さくらさくらコンサート

～^{いくとせ}幾年の春を重ねて～

出演 ^{おうめい} 嚶鳴女声合唱団

チェロ 増川大輔

ピアノ 須藤恵美子

日時 4月21日(日)

午後2時開演

チケット 1,000円

(入館料・コーヒー付き)



開館時間 午前9時～午後5時

(入館は午後4時30分まで)

休館日 毎週水曜日

入館料 大人300円、小・中学生150円

問い合わせ 真下慶治記念美術館 ☎(52)3195

山形空港の 運航ダイヤが変わります

山形空港東京便、大阪便の運航ダイヤが変わります。



【東京(羽田)便】(JAL・日本航空)

便名	山形発	東京着	便名	東京発	山形着
1254	12:50	→13:55	1259	14:25	→15:20

【大阪(伊丹)便】(JAL・日本航空)

便名	山形発	大阪着	便名	大阪発	山形着
2234	9:00	→10:20	2233	7:15	→8:30
2236	15:50	→17:10	2235	10:55	→12:10
2238	18:00	→19:20	2237	16:15	→17:30

問い合わせ

山形空港利用拡大推進協議会(県交通政策課)

☎023(630)3081

山形県知事許可(般-9)第300234号



屋根・外壁 塗り替え 専門店

迅速丁寧・低料金で高品質

(有)イトウ装建

伊藤塗装店

☎0237-55-2886

村山市楯岡笛田4丁目6-22

全工事

自社責任施工
地域密着真心対応

見積無料

イトウ装建 で検索 詳しくはホームページをご覧ください。

広告

春季火災予防運動 市防災訓練



消すまでは
出ない行かない 離れない

◎火災予防運動

期間 4月9日(火)～22日(月)
防災無線放送およびサイレン吹鳴
日時 4月9日(火) 午前6時
22日(月) 午後8時

警鐘打鳴

期間 4月16日(火)～22日(月)
時間 午前6時と午後7時の1日2回

◎村山市防災訓練

大地震発生を想定
しておこないます。
日時 4月14日(日)
午前9時～
場所 袖崎本飯田地区



問い合わせ 市消防本部 ☎(55)2514

春の交通安全 県民運動



春は、通行に不慣れな新入学(園)児が通学・通園を始めたり、新社会人を迎えたりして、活動が活発化する時期です。また、暖かくなり歩行者や自転車利用者の行動が活発になるため、交通事故の多発が懸念されます。交通ルールとマナーを守り、みんなで交通事故防止の徹底を図りましょう。

期間 4月6日(土)～4月15日(月)

運動の基本 子どもと高齢者の交通事故防止
運動の重点

- ①自転車の安全利用の推進
- ②全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底
- ③飲酒運転の根絶
- ④道路横断時・交差点における交通事故防止

**4月10日(水)は
「交通事故死ゼロを目指す日」**

問い合わせ 市民課安全係 ☎内線114

4月7日の日曜市役所

8:30～12:30 日曜日の直通電話 ☎(55)2118

ふだんの日曜市役所は諸証明書等の発行業務のみの取扱いになりますが、4月7日は通常業務に加え、住民異動等に関する下記手続きができます。窓口にお越しの際は、印鑑、身分証明書をお持ちください。

- ◎転入届 ◎転出届 ◎転居届
- ◎小・中学校の転入学届
- ◎児童手当の申請
- ◎水道開閉栓届
- ◎国保医療申請
- ◎福祉医療申請



問い合わせ
市民課市民係 ☎内線111
市学校教育課学事係 ☎内線324
市福祉事務所子ども福祉係 ☎内線149
市水道課業務係 ☎内線181
市保健課国保医療係 ☎内線135

勤労青少年ホーム講座 パソコン入門(ワード)教室

パソコン電源の入れ方など操作の基本から文字入力・簡単な文書作成までを学ぶ全10回の初級者対象教室です。市勤労青少年ホーム協会と市が主催の講座です。受講料を添えて申し込んでください。

期間 5月10日(金)～31日(金)の
毎週月曜・水曜・金曜日

時間 昼コース＝午後1時～3時30分
夜コース＝午後6時30分～9時

対象 市内に在住または勤務する一般成人で、パソコン初級者

※ワード2003バージョン以降が入ったパソコンを持参してください(持ち込みできない場合はご相談ください)

定員 各コース先着10名程度

受講料 10,000円 申込期限 4月9日(火)

申込み・問い合わせ・会場

市勤労青少年ホーム ☎(54)2320

